



2021.08

Free paper for  
students, parents and  
local people  
Publisher: GOTSU CONSORTIUM  
Edit: TEGONET-IWAMI  
Design: D32 Co., Ltd

9

# 学校と地域を結ぶコーディネーター



「江津工業高校」竹内コーディネーター



「江津高校」齋ヶ原コーディネーター



「江津清和養護学校」藤田コーディネーター

# 多様性

多様性のあるチームで  
化学変化を起こす

3校それぞれの校種の強みを  
体験する。多様性は教育現場に  
新たな気づきを与え、これまで経  
験できなかった面白さを知った生  
徒からイノベーションが生まれ  
る。

# ×

江津市の創造力人材  
とのコラボへ

地域課題を創造力をもって解  
決する、江津ビジネスプランコン  
テストも担当することから、コン  
テスト参加者と高校生を結びつけ  
て、地域のニーズを探し出し、  
様々な高校生プロジェクトを創造  
する。

# 高校

# 探究

KAWARAプロジェクト  
の支援

先生方と一緒にKAWARAプロ  
ジェクト(総合的な探究の時間)  
の授業を設計。生徒たちがWill  
(私の興味関心)、Can(私のでき  
ること)、Need(他の人から求め  
られること)からプロジェクトを  
考え、実践する中で、生徒のプロ  
ジェクト活動への伴走や、生徒  
たちが地域の方々とつながる支  
援等を行う。

# SDGs

SDGsを学ぶ

SDGsを学ぶ授業を実施。私た  
ち一人ひとりが世界とつながって  
おり、自分の意識や行動が今  
の世界を作り上げていることに生徒  
たちが気付き、今からできるアク  
ションを考えるきっかけを作り出  
す。

# 特別支援教育 × 地域

地域に開かれた  
特別支援教育へ

地域や他校とつながる行事や授  
業をコーディネートすることで、子  
ども達の理解者やサポーターを増  
やし、お互いのより深い学びや理  
解・発見に導く。

地域とつながり、  
インクルーシブな社会  
(共生社会)をめざす

地域とつながりながら、お互い  
の違いや良さ、多様性を認め合い、  
共に生きるインクルーシブな  
社会への入り口を拓く。



## わくわくエンジン® 発見プログラム

入学して3ヶ月たった1年生が自分の中にある「わくわく」を探しました。  
地域の方や大学生のわくわくナビゲーターのみなさんに関わっていただいて自己理解を深め、職業への興味・関心を探っていました。大人の方やクラスメイトと一緒に自分について深く考える貴重な時間になりました。



## 青陵中学校の美術部が「黒板アート」に挑戦!

江津高校の美術部が、青陵中学校で美術部に黒板アートの方法をレクチャーしました。中学生は「黒板アート」初挑戦でしたが、高校生の支援を受けながら2作品を作成しました。最初は、簡単に描けると思っていた中学生も、いざ描いてみると難しく、高校生が描いた作品がいかにすごいかが分かったといった感想も聞かれました。完成した黒板アートは7月に1作品、8月に1作品を江津駅に展示しておりますので、ご覧ください。



## 旧三江線から地域課題を考える

建築・電気科3年生の課題研究では、「旧三江線から地域課題を考える」をテーマとして探究学習に取り組んでいます。モータを動力とした電車を製作し、旧三江線沿線で走行イベントを実施することで、「学んだ電気の知識を活かし、地域の活性化へ繋げていけるのではないか」と考えています。地域コミュニティと協力し、走行可能な線路の準備はできています。今後は電車の車体、足回りの製作に取り組んでいきたいと思います。



## 今年は小屋を建て替える!

昨年の課題研究では子どもたちの遊び場である山林にツリーハウスを作  
り、大変喜んで頂きました。今年は「わたぼうじ」敷地内にある、老朽化して使  
用されていない小屋をどうにかしてほしいと依頼を受けました。要望と現状を確  
認して、そのまま使うか悩んだ結果、小さな小屋を新規で建てるこ  
とにしました。今後、いろいろなアイディアを織り込んで製作したいと思  
います。



## 清和あれこれ

### 「福島ひまわり里親プロジェクト」

江津清和養護学校では、2011年の「東日本大震災」の後、被災地の復興を応援しようとすること、2015年から福島県の「福島ひまわり里親プロジェクト」に参加しています。まず、ひまわりの種を福島から購入し、福島のひまわりを育てます。そして、その花から収穫した種を福島へ送り返します。福島では、本校だけでなく全国各地の学校や自治体、企業などで収穫され、戻ってきた種を用いて、再び福島県内の各地で復興のシンボルとして花を咲かせたり、種を搾って出た油をバスの燃料に利用したりしています。

本校では、江津市内の小中学校や渡津コミュニティセンターにも参加を呼びかけて、本校からひまわりの種を配って栽培してもらっています。また、月1回の児童生徒会活動の中で、「ひまわりグループ」の児童生徒たちが栽培の様子や経過を確認したり、ひまわりの栽培を通して交流している渡津小の児童と、互いのひまわりの様子を伝え合ったり、自己紹介の手紙やビデオレターを送り合ったりしています。

本校にお越しの際は、グラウンドのフェンス沿いに並んだひまわりを、ぜひご覧にな  
ってください。



全校で取り組んだひまわりの種まきの様子です。